

ロータリークラブ

便り

奈良西ロータリークラブ会長

安井 清悟さん(54)

ロータリー活動の基本は「奉仕」で、私たちが行っている奉仕活動は「アイ・サーブ」の基本は「アイ・サーブ」である。ロータリークラブ（RC）とは、そんな人々と「私は奉仕する」という意味になる。

ロータリアン（会員の呼称）は一人一人、奉仕活動で自分自身で考えることが求められる。私たちは全員で同じ奉仕活動をする。

奉仕の基本とロータリークラブ

るときは、既存のロータリークラブの紹介で国際ロータリーが認証すれば、設立が可能になる。会員になりたい人が集まったからクラブが設立できるというわけではなく、いわゆる親（スポンサー）になるクラブが必要となる。

私の属する奈良西RCは、奈良県内では一番歴史の長い奈良RCにスポンサーになってもらって創設できた。株分けをするようなもので、奈良RCは、京都RCと大阪RCがスポンサーとなって設立された。

その京都RCと大阪RCは、日本で初めて設立された東京RCがスポン

サーで、大正時代の設立。奈良西RCは、京都RCや大阪RCから見れば孫に当たることになる。

それら個々のRCが集合体となり、世界中に広がっている。奈良、京都、滋賀、福井の各府県にあるRCは、国際ロータリー2650地区という一つの地区を構成。この1府3県を構成。この1府3

一人一人が個別活動

0人を超えるロータリアンが奉仕活動をしている。

「アイ・サーブ」が基

ただけはうれしい。

本ロータリアンだが、集合して大きな奉仕活動を行いたい。どこかで見かけられる機会があれば、「何かの社会奉仕活動をしてい



昨年（2010年）の国際ロータリー2650地区大会の参加者＝奈良市三条宮前町のなら100年会館